令和4年12月31日

一般社団法人大阪府ペストコントロール協会
令和４年（2022年度）事業報告

自　令和4年1月1日
至　令和4年12月31日

Ⅰ．概　要

本年度は、令和2年１月から現在に至ってもなお新型コロナウイルス感染症が蔓延しており、
人々の生活や感染症対策については段階的に要請内容が緩和されているものの油断はできない状況です。その他、今後も海外からの様々な感染症の流入が予想されますので、協会としては、特に感染症媒介生物等に警戒を続けたいところです。
また、令和3年7月大阪港にてヒアリが確認されて以降、関係機関による調査依頼が続いていることから、ヒアリ調査隊を編成し対応いたしました。

今後も、有事の際はこれまで培ってきた環境衛生に関する防除技術・知識を活かし、各行政機関・関係団体と連携し、災害復興に役立つ活動に取り組んで参ります。

害虫相談事業について、府民より寄せられた相談件数は1月1日～12月31日まで計4133件（163件増）と増加。うち新型コロナウイルス消毒関連のご相談は16件でした。

委託事業につきましては、コロナ禍の影響で調査数が減少していた、各地感染症媒介蚊のサーベイランス業務は、例年通りの調査数（7～8回）にて依頼があり実施しました。
その他ハチ駆除業務は例年通り受託いたしました。アライグマ運搬業務のうち、堺市については入札に切り替えたことから、現在枚方市のみで受託中です。
9月には、感染症対応出動隊研修会を行いました。枚方市との感染症媒介蚊採取と同定業務委託契約に基づき、8分間人囮法による媒介蚊採取と同定方法について研修並びに実地演習を行いました。

また、厚生労働省から登録を受けた防除作業監督者講習会は昨年度から引き続き、感染症拡大防止のためオンライン学習にて開催されました。従事者研修会については感染症対策を行った上で会場にて開催いたしました。